

子宮頸がん予防ワクチン接種のご案内

当院では平成22年1月27日より、子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)の予防接種を開始します。予約受付は平成22年1月12日より開始いたします。

■中学生までの方

場所	小児科外来
実施日	毎週 水・木・金(予約制)
受付時間	午後4時
ご予約・お問い合わせ先	外来8番窓口

■高校生以上の方

場所	産婦人科外来
お問い合わせ先	産婦人科外来窓口

- ・中学生以下は小児科外来で行います。高校生以上の方は、まず婦人科を受診され、当日の担当医と予防接種時期をご相談ください。

【子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)とは】

- ① 子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)は、すべての発がん性HPVの感染を防ぐものではありませんが、子宮頸がんから多くみつかるといわれるHPV16型、18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。
- ② サーバリックスを接種しても、HPV16型およびHPV18型以外の発がん性HPVの感染は予防できません。また、サーバリックスは接種時に発がん性HPVに感染している人に対して、ウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんや前がん病変の進行を遅らせてたり、治療することはできません。
- ③ 上記のようにサーバリックスの接種時にHPV16型や18型の発がん性HPVに感染している人に対して、十分な予防効果は期待できませんが、HPV16型と18型の両方に同時に感染している可能性は低く、HPV16型に感染している人でもHPV18型への予防効果が、HPV18型に感染している人でもHPV16型への予防効果が期待できます。また、発がん性HPVに感染している人に対してサーバリックスを接種しても、症状の悪化などは報告されていません。
- ④ ワクチンを接種した後も、すべての発がん性HPVによる病変が防げるわけではないので早期発見するために子宮頸がん検診の受診が必要です。市町村が実施する公的子宮頸がん検診は、20歳以上を対象として2年に1回の受診間隔で実施されますので、定期的な受診しましょう。

【接種対象者】

10歳以上の女兒、および55歳までの成人女性です。現在妊娠されている方、妊娠の可能性がある方、授乳中の方は除外となります。

【接種方法】

接種回数:3回

- ①初回接種
- ②初回接種から1ヶ月後
- ③初回接種から6ヶ月後

【料金】

1回につき14,700円(税込)

【接種時の持ち物】

- ・健康保険証
- ・診察券(受診したことのある方)

【予約時の注意点】

- ・接種時には必ず保護者同伴でお越し下さい。
- ・予防接種は体調の良い時に受けるのが原則です。発熱のある場合等は受けることができません

【その他】

- ・子宮頸がんに関する詳しい情報は、こちらのサイト allwomen.jp